

県水道設計業協会総会

新会長に大徳氏選出



大徳 宰新会長

県水道設計業協会(四元久会長)は4日、鹿児島市の鹿児島東急ホテルで20年度通常総会を開き、



水道実務研修会の開催も決めた総会
＝鹿児島市の鹿児島東急ホテルで

和泊町建設同友会ボランティア

海岸や砂浜清掃

和泊町建設同友会(佐々木貞進代表理事・㈱向建設社長)は、このほど和泊町(伊地知実利町長)と県大島支庁沖永良部事務所(高崎康幸所長)との間で、それぞれ大規模災害時における応急対策協定を締結した。同会では、今回の協定締結を記念して3月31日、地域への奉仕の一環として同町内の笠石公園から和泊港までの海岸や砂浜の清掃



海岸・砂浜清掃作業

めた。約半日をかけた作業の結果、トラック4台分の漂着物を収集。作業終了後は、沖永良部クリーンセンターで担当者の指導の下、全員で分別作業も行った。

今回の活動について佐々木代表理事は「休日にも関わらず、会員の方々に積極的に協力いただき心から感謝する。次回はさらに多くの会員を導入し地域に貢献したい」と抱負を語った。

鹿児島市管工事協組 集団

血液不足解消に一役

鹿児島市管工事協組(合(青木英一 理事長)は3日、鹿児島市の県赤十字血液センターで、毎年恒例の集団献血を実施し、組合員らが血液不足の解消に一役買った。



集団献血は社会貢献活動の一環として取り組んでおり、今回で18回目を数える。この日も午前9時から受け付けをスタート。会員各社の社員ら約350人が業務の合間をぬって続々と訪れ、献血者のうち98%が400mlに協力するなど、高い理解を示していた。

出水共同高等職業訓練校入校式

出水共同高等職業訓練校(校長・渋谷俊彦出水市長)は4日、出水市野田町の同校で平成20年度入校式を開き、来賓や講師をはじめ土木施工科の在校生らが迎える中、女性1人を含む木造建築科7人が入校した。入校生の紹介に続いて、渋谷校長が「働きながら技能を習得するのは大変だ

大小路夜桜花見大会

町い意気込みアピール

薩摩川内市大小路自治会連絡協議会(堂脇善博会長)は3日、大小路八坂神社児童公園で第8回花見大会を開催し、地元自治会の事業所をはじめ、国土交通省川内川河川事務所や県北薩地域振興局、酒造を酌み交わす参加者、薩摩川内市の大小路八坂神社児童公園で式辞を述べた。また、来賓を代表して吉徳敏明県商工労働部雇用政策課技術補佐、住吉徹県職業能力開発協会専務理事らが祝辞を述べ、樋口守副校長が指導員や訓練校運営団体でもある出水地区職業訓練協会の役員を紹介して終了した。入校生は次の通り。一住連剛(㈱古川建設)末永大樹(末永建築)濱運(濱建築)東良次(㈱古賀建設)山崎智宏(山崎建築)山崎智洋(山崎建築)磯永奈留美(㈱窪産業)

薩摩川内市など行政機関、県議や薩摩川内市議ら各界から大勢が参加して夜桜の宴で盛り上がった。会場には4月の異動で着任したばかりの足利川内川河川事務所長や丸岡憲治県北薩地域振興局長も職員と一緒に参加して、着任の挨拶を兼ねて今後の町づくりの意気込みをマイクでアピール。また、芹ヶ野義久薩摩川内市倫理法人会長や新任の吉田昇一(㈱九電工薩摩川内営業所)の顔も見られ、参加者は酒を酌み交わしながら、踊りやカラオケなどの余興で盛り上がった。

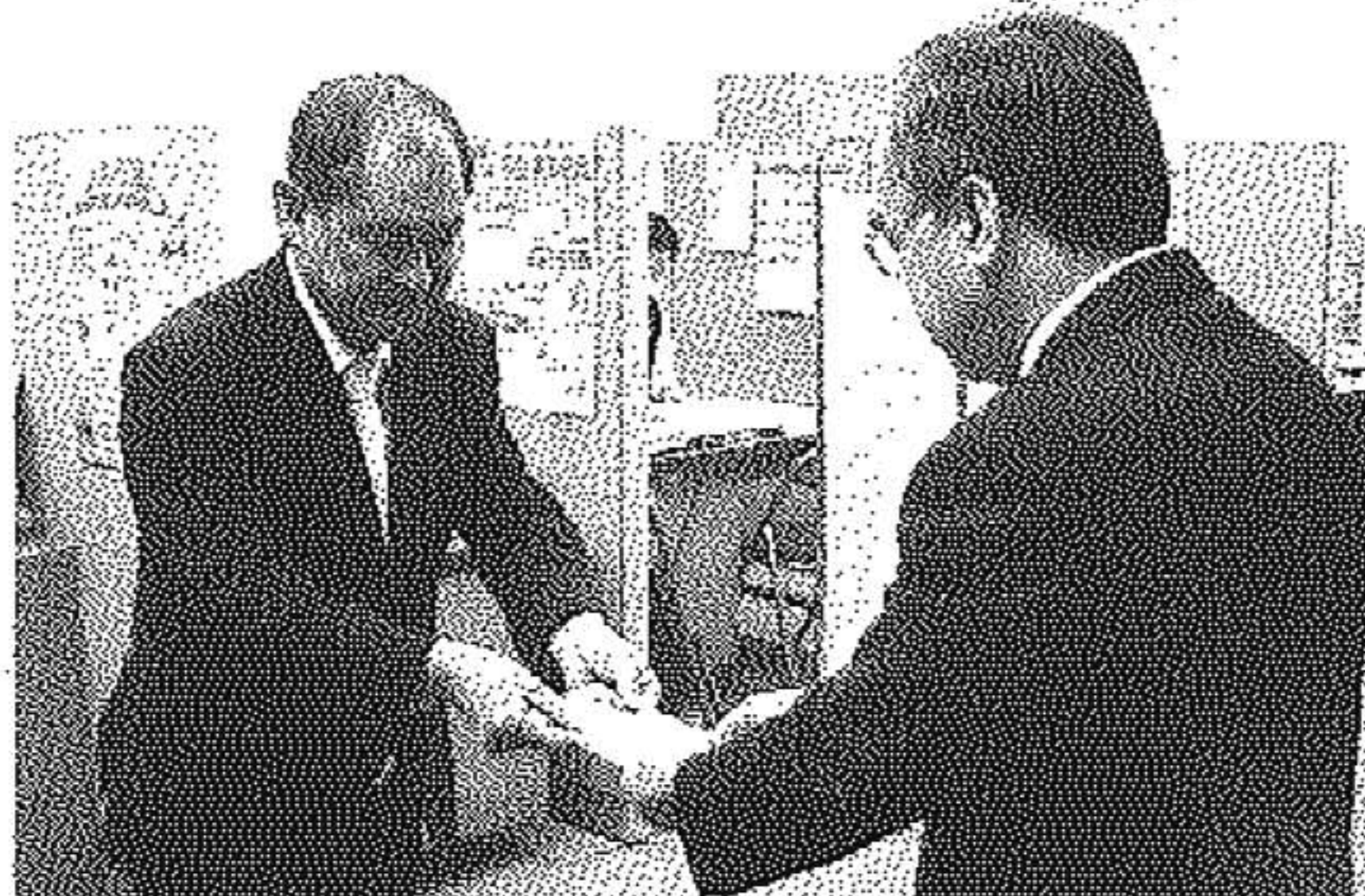
鹿工野球部にボール寄贈

OBの熱い思い形に

第80回記念選抜高校 高校(石塚寛校長)を野球大会に初出場した3日、(株)鹿児島建設新聞の鹿児島市鹿工工業 聞の向江泰徳社長が訪れ、本紙の特集面「甲子園出場を祝う」と述べた。(3月19日号 677面)の長が「建設業界としての広告料金のようないい思いを先輩の熱い思いをしっかりと受け止めてほしい」と感謝の言葉を述べた。また、礎山浩野球部長は「夏の甲子園出場に向け、今回を訪れた向江社長は「高校進みたい」と抱負を語生らしいハツ

たすけあい協会に寄付

交通遺児に役立てて



「交通遺児に役立ててください」と、藤安醸造(藤安秀一社長)が3日、県交通被災者たすけあい協会(米盛庄司理事長)を訪れ、祭りの収益金10万円を寄付した。同社では毎年3月、お客様に感謝の意味をこめて「日本の味 ヒシクほれほれ祭り」を開催し、フリーマーケットなどの収益金を同協会に贈っている。同日は、祭り実行委員長の野間口孝二販売促進課長が鹿児島市の県庁にある同協会を訪れ、山下和也事務局長に益金を手渡した。野間口課長は「会社で約30台以上の車が走っており、このため交通遺児のためになるならばと、毎年贈っています」と話していた。